

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R6(2024).3.1

No.15

豊岡市HP→左中段「くらし・行政」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ
豊岡市のホームページにもアップしています

豊岡市小中一貫教育 さらなる推進を!

豊岡市小中一貫教育
推進協議会より

ふるさと教育

次のような成果(◎)と改善策(☆)を共有しました。

コミュ教育

- ◎ 仲間との協働を意識した学びや地域の「ひと・もの・こと」に学ぶ体験活動がより充実した。
- ☆ 各校で、さらにふるさと学習と教科教育、地域教材・地域の人材を関連付けて実践しましょう。

- ◎ 小学校での活動を基に、中学校で自分の考えをさらに広げたり深めたりしている。
- ☆ コミュニケーション授業の目的・内容・成果等について家庭・地域とさらに情報共有しましょう。

英語教育

学習指導と生活指導

- ◎ 英語の授業(学習)に対して、「楽しい」、「好きだ」等、肯定的に捉えている児童生徒が多い。
- ☆ 英語に関するイベントへの参加呼びかけや授業以外で英語を活用する場面を設定しましょう。

- ◎ 中学校進学に向けて「授業のこと、先生の態度に不安やとまどいがない」児童が増えた。
- ☆ 各ブロックの実態に応じて、地域とのつながりを意識した工夫ある取組をしましょう。

◎ 子どもの教育について → 文化資本への関りが大切となる。

○家庭において、休日や夕食時に親子で文化的な会話をしたり、美術館等に行ったりするなどの体験をすることが非常に重要。

○共通テストの長文を読むために必要なレジリエンス(耐える力)や非認知能力にも大きく影響してくる。

◎ 探究、総合的な学習の時間について

➡批判的な思考力を持つ子どもたちを育てていくことが重要。

○フランス革命が1789年に起こったという学習ではなく、フランス国旗の色が何色で、その色にはどのような意味があるのか、そしてルソーにまで広がる深い学びが大切。

○学習の際、必ず体験したことを言語に落とし込む。メモを取ったり、アンダーラインを引いたり、自分なりにデザインし直すこと。秋田県では「家庭学習ノート」というものがあり、児童生徒が家庭に帰って自分なりにデザインし直す作業をしている。学校で学んだことを保護者の前で話すこともよい。とにかくアウトプットすることが大切。

○探究の大切な目標は、積極的に社会に参画する態度にある。地域社会に参画するといった社会問題を解決する、校区の問題、学校の問題に関わっていくということ。

○子どもたちが、学校のあるべき姿、地域のあるべき姿、自分が何をすべきかということについて主体的・対話的で深い学びをしていく。先生方、友達だけでなく地域の人との対話ということが加わってくる。

○「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」のサイクルを総合的な学習の時間で何回も行うことが大切。

○課題の設定は、先生方が課題を決めて主導するのではなく、子どもたちを上手に誘い込むことが大切。子どもが発見する、地域の中から課題を探し、自分なりに日常生活や社会に目をむけて課題を設定することが大切。

◎ブック・スマートから、ストリートスマートな時代へ

○ブック・スマートとは、「頭がいい」「勉強ができる」学歴や学識がある等。ストリート・スマートとは、実体験を通じて(ストリートで)色々なことを学んでいて、自分で生きていく知恵を持っている等。体験、経験を通して学ぶことが大きい。社会的な活動の中で、どのような力を発揮することが大切になってくる。

佐藤先生の
講義より